

迎春



魅力と活力ある
「市民が主役のまちづくり」の実現に向け



新年あけましておめでとうございませう。皆様におかれましては、健やかに初春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

現在、北陸新幹線の6年後の敦賀開業を見据え、敦賀の魅力をさらに磨き上げ、宝として発信出来るよう、開業効果を取り込むための受け皿づくり、積極的なまちづくりを進めているところでございます。

市長新年のあいさつ

今年、中心市街地に集客効果と波及効果を生み出す施設を目指し、アクアトムの1階を利用した「あそび・まなび・子ども広場」の整備に着手する予定です。

また、リニューアルした敦賀赤レンガ倉庫のジオラマ館につきましては、昨年末までに予想を大幅に上回る4万人超の来館をいただき、多くの方々に大変楽しんでいただいております。

を中心に、大規模な屋内子ども広場として整備するものです。天候や季節を問わず手軽に訪れることができ、ファミリー層を中心に多くの方々に楽しんでいただける新たな拠点施設として、氣比神宮の門前町である神楽通り周辺のにぎわい創出と共に整備を進めてまいります。

今後につきましても、赤レンガ倉庫や人道の港 敦賀ムゼウムがあります金ヶ崎周辺を観光誘客の中枢として、リニューアルした博物館、舟溜り地区などと合わせ、市内外の多くの方々に訪れていただけるよう、広くPRしてまいります。

市民の皆様とともに魅力と活力ある「市民が主役のまちづくり」の実現に向けて全力で取り組んでまいります。本年が市民の皆様にとりまして、幸多い一年でありますことを、心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶いたします。

敦賀市長
洲上隆信

北陸新幹線敦賀開業を見据えた

観光誘客の拠点

人道の港 敦賀ムゼウム



1920年に上陸したポーランド孤児、1940年に杉原千畝が発給した「命のビザ」で上陸したユダヤ人難民に関する資料や敦賀市民との交流の記録が展示されています。

博物館通り

町家ショップ



昨年7月にリニューアルオープンした市立博物館をはじめ、町家ショップや山車会館などが立ち並びます。

市立博物館



金ヶ崎周辺

敦賀赤レンガ倉庫

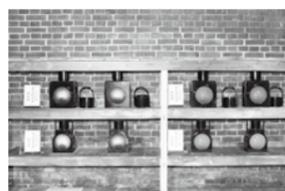


昨年10月にオープンした敦賀赤レンガ倉庫には、連日多くの人で賑わっています。特にジオラマ館では、年末に来館者4万人を突破。1月末には5万人を突破する見込みです。

敦賀鉄道資料館



旧敦賀港ランプ小屋



みなとつるが山車会館 紙わらべ資料館



新たな玄関口

門前町（神楽通り周辺）



氣比神宮の門前町として、賑わい創出の整備を進めていきます。

敦賀駅周辺



昨年10月に利用が開始された敦賀駅前広場をはじめ、敦賀駅交流施設オルパークなど新たな玄関口として整備されています。